

みんなの居場所

裏面の話題

みんなの居場所の裏面は、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、語、慣用句等々を載せていきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。会話が広がります。

令和5年4月24日(月)

徒然 成功の鍵

最近思うことがある。人が何かを目指して活動する時、成功に近づくための条件があるように思う。次の3点だ。

- ①目標がない
- ②謙虚でない
- ③感謝の心

自分自身の若い頃、多くの人が「成功」を求めて、少くも成功体験をするために目標を立てて頑張っていた。だが、成功は他の皆さんがサポートしてくれていたからなのかもしれない。成功は付いてくる。感謝もせず本心に情けない自分だった。過去の成功を忘れないようにしていきたいと思ふ。

読書への誘い

この今時期は何かをするのも良い季節ですね。外で活動する人も多いと思います。また、月末からゴールデン・ウィーク(GW)に入り、ご家族で色々な計画があるのではないのでしょうか。コロナ禍も感染状況は横ばいであり、子供達には外の伸び伸び活動してほしいと思つた澤田です。その中でも「読書」は特別な存在です。読書の持つ力は、心を開き、心を育て、心を豊かにしてくれます。読書の力は、心を豊かにしてくれます。読書の力は、心を豊かにしてくれます。読書の力は、心を豊かにしてくれます。

誰の伝記を読んでも、歴史に学ぶ教訓が人々には読解解決に対する主体性でハイパーテクノロジーを育てていきたいと思います。また、それを可能にする相対数の読書で学習を促したいと思います。

この時期は何かをするのも良い季節ですね。外で活動する人も多いと思います。また、月末からゴールデン・ウィーク(GW)に入り、ご家族で色々な計画があるのではないのでしょうか。コロナ禍も感染状況は横ばいであり、子供達には外の伸び伸び活動してほしいと思つた澤田です。その中でも「読書」は特別な存在です。読書の持つ力は、心を開き、心を育て、心を豊かにしてくれます。読書の力は、心を豊かにしてくれます。読書の力は、心を豊かにしてくれます。

シリーズ「自分を語る」#009

国際豊かな熊本市国際課。当り前ですが、6月、韓国の研修員「崔さん」(チェさん)を滋賀県栗東市でピックアップし、一路熊本へ。まず、大津市から京都駅へ移動し、そこからバスで大阪伊丹空港まで行きます。最も気を遣ったのは、迷子にならないかという点です。この点がわかって感じですが、このバスの中は会話の場です。身振りの手振りの携帯電話による翻訳、それと韓国語訳の本が頼りの「多国籍中年公務員珍道中」です。チェさんは「私」の二つ上でした。チェさんは「私」の二つ上でした。チェさんは「私」の二つ上でした。チェさんは「私」の二つ上でした。

その後、約1時間の空路を経て、熊本空港到着。私は前日から車で空港まで移動していたので、そこからチェさんを車でお連れします。国際課と課員を紹介するのです。そこから、通訳を伴って高野へ移動します。携帯電話の手続きや補助金が振り込まれる通帳の手続きのため、待ち時間が長くなり、結局1時間張りつめました。その日は取り敢えず終わりの、次の日から他の留学生と同様に外国人登録、日本語研修等々の手続きに入っていきます。

この時期は何かをするのも良い季節ですね。外で活動する人も多いと思います。また、月末からゴールデン・ウィーク(GW)に入り、ご家族で色々な計画があるのではないのでしょうか。コロナ禍も感染状況は横ばいであり、子供達には外の伸び伸び活動してほしいと思つた澤田です。その中でも「読書」は特別な存在です。読書の持つ力は、心を開き、心を育て、心を豊かにしてくれます。読書の力は、心を豊かにしてくれます。読書の力は、心を豊かにしてくれます。